

電子地域通貨「さるぼぼコイン」について



さるぼぼコイン

SARUBOBO COIN

目次

飛騨高山

1. 市の現状	2
2. さるぼぼコインの活用	17

1. 市の現状



1. 市の現状

①位置・規模など

岐阜県飛騨地方
の山間都市 (H17.2.1 1市9町村で合併)

【人口】 84,326人 35,959世帯
うち65歳以上33.3%
(R5.1.1現在)

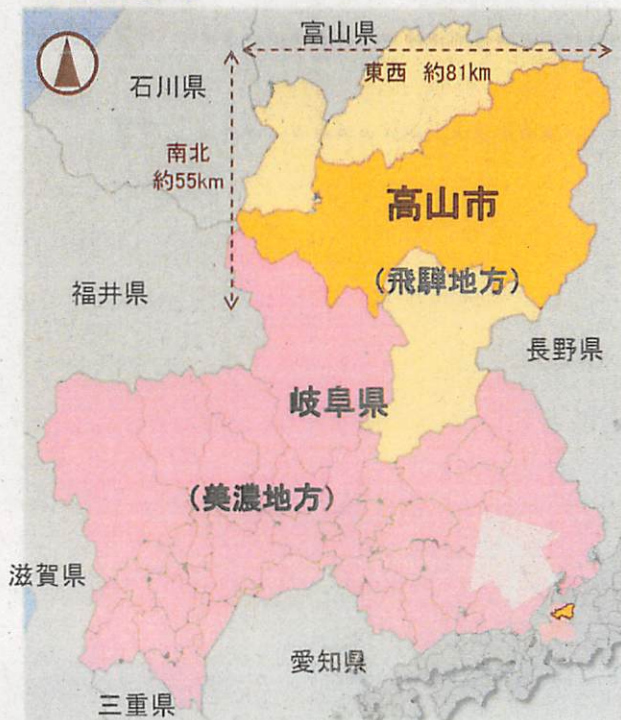
【面積】 2,177.61km²
日本一広大な市で、東京都と
ほぼ同じ面積(92.1%が森林)

【標高】 最低436m(上宝町吉野)
最高3,190m(奥穂高岳)

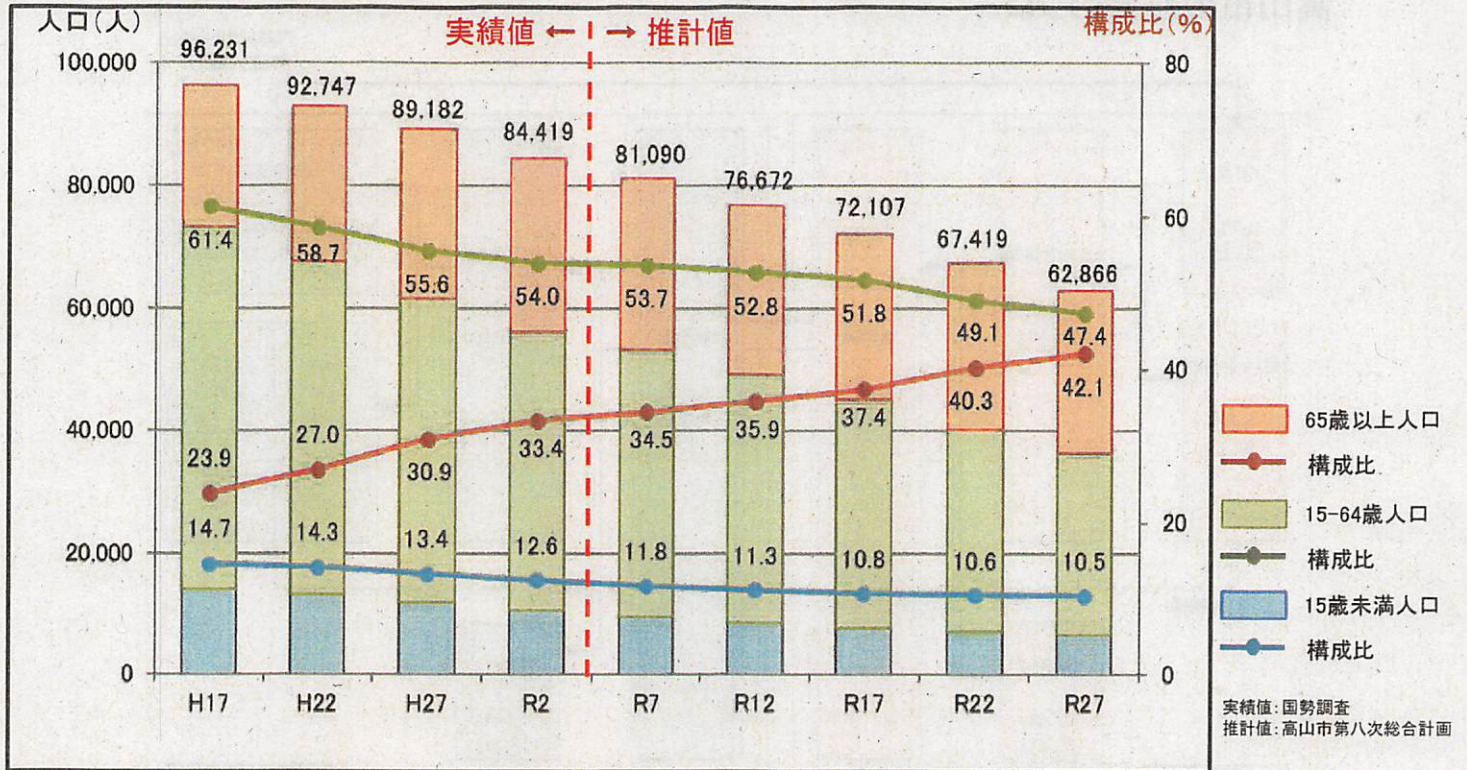
【予算規模】 一般会計 約477億円
特別会計 約213億円
(R4年度当初予算)

【職員数】 838人(R4.4.1現在)

【財政状況】 財政力指数 0.52 (H31~R3)
地方債残高 204億円 (R4.3末一般会計)
基金残高 524億円 (R4.3末一般会計)
経常収支比率 77.8% (R3決算)

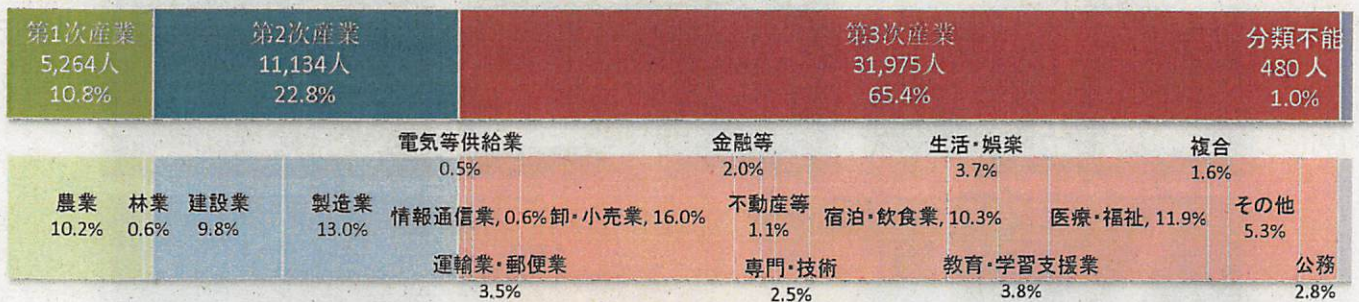


②人口推移



③産業構造

<従業者数> 総数48,853人



平成27年 国勢調査

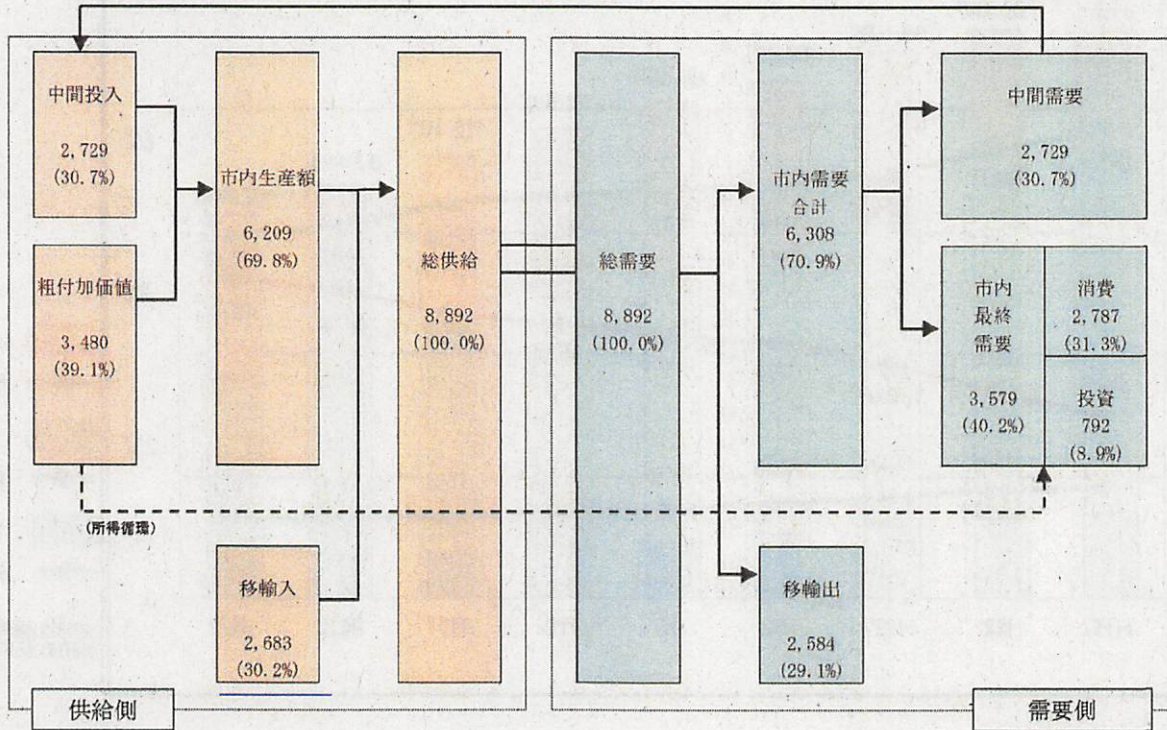
<市内総生産> 3,526億円



平成26年 岐阜県市町村民経済計算結果

高山市の経済のフロー

平成26(2014)年分
(単位：億円)



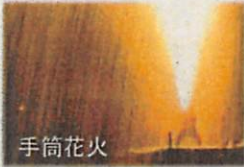
移輸出 - 移輸入 = △99億円



④地域資源 <誇れる伝統文化、人々の営み>



春の高山祭



手筒花火



野麦峠



連獅子



庄川村芝居



生きびな祭



金蔵獅子

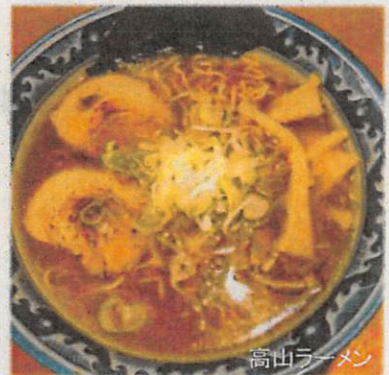


秋の高山祭

④地域資源 <風土に根ざした食文化、きらりと輝く地域産業> 飛騨高山



飛騨牛



高山ラーメン



ほうれんそう



漬物



地酒



トマト



飛騨の家具

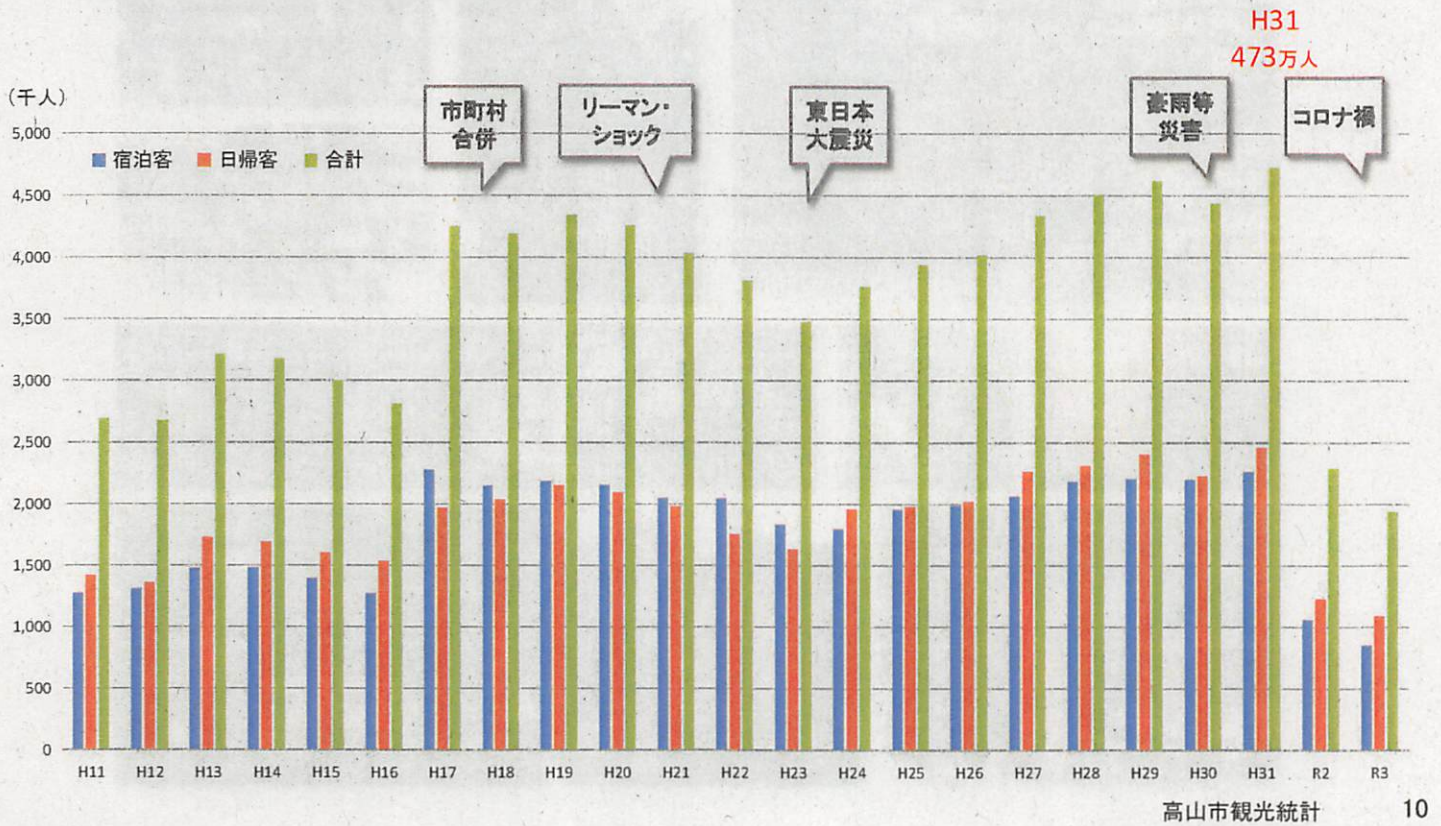


一位一刀彫



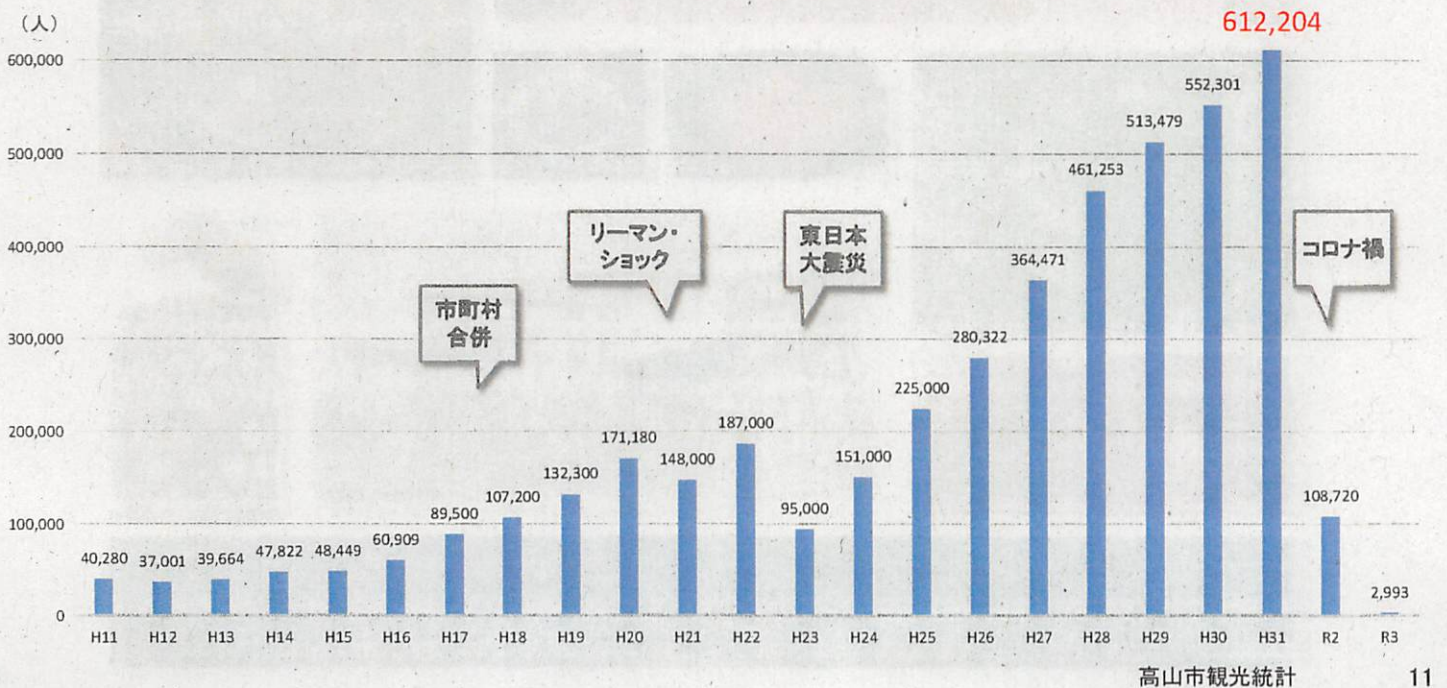
飛騨春慶

日帰り、宿泊別入込者数の推移



外国人宿泊数の推移

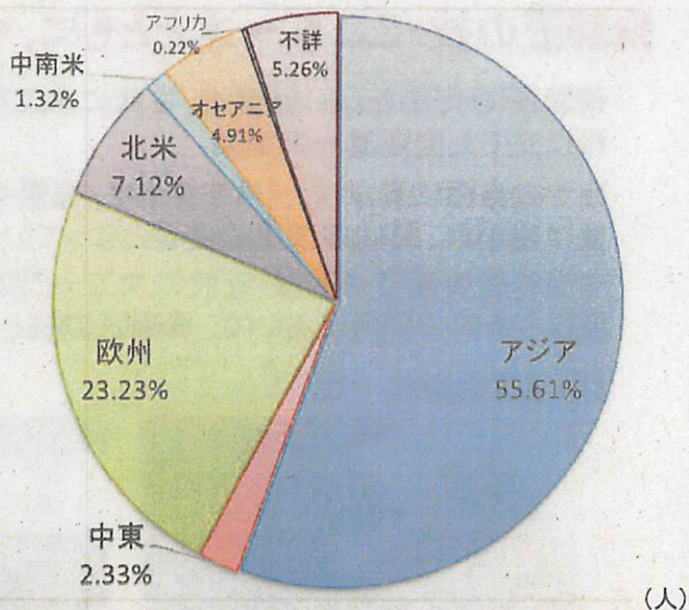
平成23年以降順調に増加し、平成29年には初めて50万人を突破



⑤ 観光動向

平成31年国別外国人宿泊数

順位	国・地域	人数(人)	シェア
1	台湾	103,763	17.0%
2	中国	61,841	10.1%
3	タイ	52,945	8.7%
4	香港	48,099	7.9%
5	スペイン	34,952	5.7%
6	アメリカ	34,511	5.6%
7	オーストラリア	26,365	4.3%
8	イギリス	23,124	3.8%
9	フランス	20,815	3.4%
10	イタリア	18,458	3.0%



アジア	中東	欧州	北米	中南米	オセアニア	アフリカ	不詳	合計
340,443	14,286	142,190	43,600	8,076	30,064	1,347	32,198	612,204

高山市観光統計

⑥ 長きに渡る取組みの成果

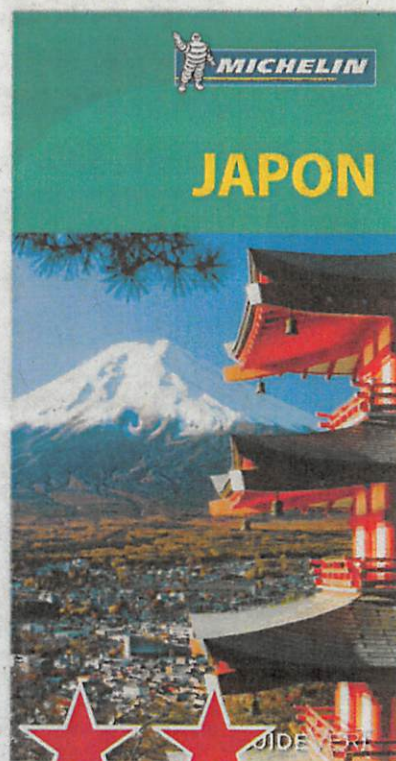
ミシュラン社が選ぶ「三つ星観光地」の一つ

2009(H21)年 仏ミシュラン社が初めて発行した日本旅行ガイドにおいて、東京や京都などに並び「わざわざ旅行する価値がある観光地」として三つ星を獲得

2020(R2)年発行の改訂第6版まで連続して選出



古い町並(三町伝建地区)



文化庁「日本遺産」に認定(H28.4)

飛騨匠の技・こころ ～木とともに、今に引き継ぐ1,300年～

飛騨匠(ひだのたくみ)制度は、古代に木工技術者を都へ送ることにより税に充てた全国唯一の制度

豊かな自然に育まれた「木を生かす」技術や感性、実直な気質は現代に受け継がれ、高山の文化の基礎となっている

中世の社寺建築や近世・近代の大工一門の作品群、伝統工芸など、現在も市内の随所において、飛騨匠の技と心に触れることができる

【構成文化財の一部】



国分寺大銀杏、三重塔



高山陣屋



吉島家住宅

ユネスコ「無形文化遺産」に登録決定(H28.12)

「高山祭の屋台行事」を含むわが国の「山・鉦・屋台行事」が、国連教育科学文化機関(ユネスコ)の無形文化遺産に登録

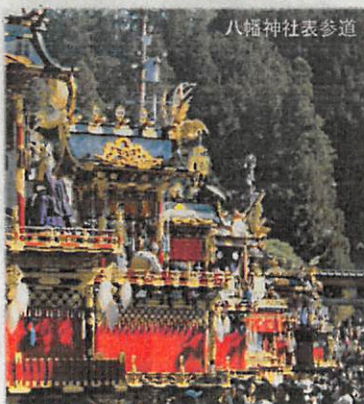
【高山(春の山王祭、秋の八幡祭)、祭屋台】



夜祭



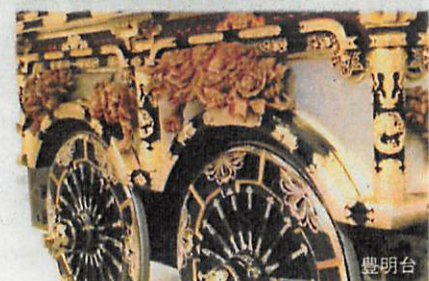
祭囃子



八幡神社表参道



布袋台からくり奉納



豊明台

⑦最近の取組みの成果

SDGs未来都市に選定 高山市(R3.5.21) (2021.5.21)

世界を魅了し続ける「国際観光都市 飛騨高山」の実現



経済

- 観光まちづくりの推進
- 飛騨高山ブランドの強化
- 地域循環型経済の構築

環境

- 脱炭素社会の早期実現
- 100年先の森林づくり
- 山岳資源を活かした地域活性化

社会

- 歴史・伝統の保存、継承
- 夢と誇りが持てる社会の構築
- とともに支えあうしくみの構築

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2. さるぼぼコインの活用



さるぼぼコイン

SARUBOBO COIN

2017.12~



①導入時の調整

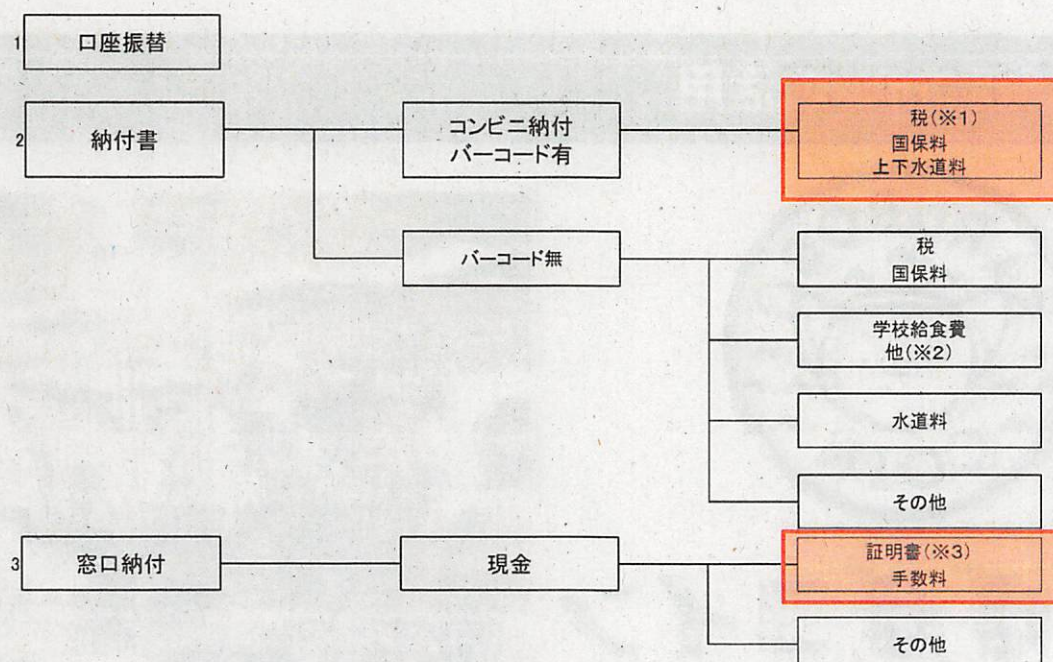
1. 目的

市への納税や使用料等の納付については、これまでも口座振替やコンビニ収納等により納付環境の利便性向上を図ってきているが、電子マネーやクレジットカードなどによる支払いが進んできているため、多様な納付方法の導入を進め、更なる利便性の向上を図る。

2. 内容

公共料金の納付方法において、現在使用しているコンビニ収納用の納付書を利用することで容易に導入が出来ること、また、地元事業者が推進する電子マネーであり、利用時の手数料が地域内循環につながることを踏まえ、新たな決済方法として、さるぼほコインを導入する。

②導入時の調整(導入範囲)



※1 市・県民税、固定資産税、軽自動車税(R3年4月より上下水道料金にも対応)

※2 学校給食費、後期高齢者医療保険料、保育料、下水道受益者負担金、住宅使用料、清掃手数料・産業廃棄物手数料、入湯税

※3 住民票、印鑑証明、戸籍、税証明等

電子地域通貨さるぼぼコインを活用した連携に関する覚書

令和元(2019)年7月12日、飛騨信用組合と高山市の間で覚書を締結



(覚書抜粋)

高山市(以下、「甲」という。)と飛騨信用組合(以下、「乙」という。)は、電子地域通貨さるぼぼコイン(以下、「さるぼぼコイン」という。)を活用した連携に関し、次のとおり覚書(以下、「本覚書」という。)を締結する。

(目的)

第1条 本覚書は、甲及び乙が連携し、さるぼぼコインを活用して事業を実施することにより、地域経済の循環・発展及び市民サービス向上に寄与することを目的とする。

(連携事項)

第2条 甲と乙は、前条の目的を達成するため、次の事項について連携する。

- (1) さるぼぼコインを利用した公的決済に関すること
- (2) 市民サービスの向上に関すること
- (3) その他、本覚書の目的達成のために必要とすること

20

① 市県民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険料、上下水道使用料の手数料

納付方法	内 容	手数料(税別)	
口座振替	指定された預金口座からの引落	10円/件※	
納付書	窓 口	市役所、指定金融機関窓口での納付	
	コンビニ納付	コンビニでの納付(バーコード使用)	57円/件※ ※2
	PayB(ペイビー)	スマートフォン等での決済(バーコード使用)	57円/件 ※
	クレジット納付	スマートフォン等での決済(バーコード使用)	金額に応じ変動 ※3 (100円~3,000円) 本人負担
	ネットバンキング	スマートフォン等での決済(バーコード使用)	100円/件 本人負担
さるぼぼコイン	スマートフォン等での決済(バーコード使用)	57円/件※	

※2 基本料 1万円/月(税別)も必要

※3 サイト管理料 3.5万円/月(税別)も必要(市負担)

② 各種証明書等手数料(市民課、税務課)

納付方法	内 容	手数料
窓 口	現金	-
	さるぼぼコイン	1.5%+税/件※ (初年度は実証実験のため無償)

※令和3年4月より、市民の更なる利便性を図るため、PayPay・PayB・auPay等、利用できる電子マネーを拡大

21

⑤ さるぼぼコインの公金決済実績

さるぼぼコインの利用実績 (R1/7/16~R4/3/31) (2019/7/16~2022/3/31)

① 市県民税、固定資産税・都市計画税、軽自動車税、国民健康保険料、上下水道使用料

		国民健康保険料		市県民/ 固定資産/軽自税		上下 水道使用料		合計	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
2019	R1年7月~3月	289	7,941,800	385	10,105,300			674	18,047,100
2020	R2年4月~3月	858	18,901,400	2,957	68,811,593		R3(2021).4~	3,815	87,712,993
2021	R3年4月~3月	1,198	24,728,000	4,911	116,293,448	783	4,338,544	6,892	145,359,992
全納付額に占める利用割合		1.39%		1.32%		0.13%			

※R3.4~PayPayなども利用可能になったが、R4.3時点で全体の6割はさるぼぼコインの利用

② 各種証明書等手数料(市民課、税務課)

		市民課		税務課		合計	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
2019	R1年7月~3月	448	167,550	63	31,700	511	199,250
2020	R2年4月~3月	1,109	450,450	153	70,900	1,262	521,350
2021	R3年4月~3月	1,304	556,660	403	87,400	1,707	644,060
全納付額に占める利用割合		1.6%		2.05%		1.65%	

⑥ 取り組み状況

① 公共料金納付で活用拡大

- ・令和3年4月より、上下水道料金の納付書への活用拡大
- ・公共施設使用料の窓口現金払いでの活用(検討中)

② 市内周遊バスでの利用

- ・匠バス(観光特化型バス)での利用(R2.4~)
- ・のらマイカー(地域バス)、まちなみバス(中心市街地バス)での活用拡大(R3.4~)

③ 災害時等における情報配信

さるぼぼコインのアプリに付随しているGPS機能を使用して、エリアを限定した防災情報を配信

④ 健康ポイント事業での活用

さるぼぼコインのポイントカードを活用(約2割の方がさるぼぼコインを選択)

⑤ マイナポイント事業での活用

⑥ コロナ禍において商店街を支援

産業団体等活性化策支援事業補助金により商店街の買物で20%還元キャンペーン

⑦ 本庁舎にチャージ機を設置(R3.11)

⑧ プレミアム付き商品券(R4.7)

紙の商品券または、さるぼぼコインのいずれかを選択

⑨ グリーンライフポイント(R4.9~)

エコな取組みに対しenepoまたは、さるぼぼコインのいずれかを選択

